

ジェトロ 地域・分析レポート

米フロリダ州宇宙産業（1）打ち上げ拠点が生む産業集積

表2：ケネディ宇宙センター（KSC）内外における主要施設・企業の立地と機能

企業・団体名	主な施設	立地	主な機能	主な顧客	運営	施設概要
NASA	宇宙機組み立て棟（VAB）	KSC内（NASA施設）	ロケット組み立て	NASA	NASA	世界最大級の組立棟で、大型ロケットの垂直統合を実施。スペース・ローンチ・システム（SLS）などの組み立てに使用され、民間との共有利用も進むインフラ。
	運用・最終検査棟		宇宙機統合			有人宇宙船「オリオン」の組み立て・試験を行う施設。クリーンルームや統合設備を備え、深宇宙ミッション用宇宙機の最終準備を担う。
	複数ペイロード処理施設		ペイロード処理			宇宙機やペイロードへの危険推進剤の充填（じゅうてん）・処理を行う施設。打ち上げ前の最終工程を担う重要インフラ。
	打ち上げ場「LC-39B」		打ち上げ			アポロおよびスペースシャトルの打ち上げに使用された発射台で、現在はSLSロケットによるアルテミス計画の打ち上げ拠点として運用される多用途発射インフラ。
	シャトル着陸施設（SLF）		着陸・運用	NASA 民間	州政府	スペースシャトルの着陸用に整備された長大な滑走路で、現在は航空機運用や商業宇宙機の着陸拠点として利用される宇宙港インフラ。フロリダ州政府機関のスペース・フロリダが管理・運営を担う。
ボーイング	オービタ整備・処理施設（OPF）	KSC内	宇宙船統合・試験	NASA	民間	旧シャトル整備施設を転用し、カプセル型の有人宇宙船「CST-100 スターライナー」の統合・試験を実施。旧オービタ処理施設3号を改修して設置された商業クルー・貨物処理施設（C3PF）内で組み立てなどを行う。
ロッキード・マーティン	有人宇宙船「オリオン」製造・試験施設	KSC内	製造・組み立て	NASA	民間	NASAのアルテミス計画向け有人宇宙船「オリオン」の最終組み立て・試験を行う施設。月・深宇宙探査ミッションに直結する中核拠点。
ノースロップ・グラマン	KSC内処理施設およびKSC近郊ブレバード郡メルボルンの開発拠点	KSC内（補助） 周辺（主）	開発・統合・処理	NASA	民間	主拠点はブレバード郡メルボルンの開発・設計施設。KSC内の処理施設も利用し、国際宇宙ステーション補給機や宇宙機の統合・試験に関与。
スペースX	打ち上げ場「LC-39A」など	KSC内	打ち上げ・統合	NASA 民間	民間	アポロ計画向けに整備された発射台を改修し、「ファルコン9」などの打ち上げに利用。さらに、「ギガベイ」など、大型の再利用可能なロケット「スターシップ」に対応する設備整備も進む。
アマゾン（プロジェクト・カイパー）	ペイロード処理施設	KSC内	衛星統合・準備	民間	民間	衛星コンステレーション「プロジェクト・カイパー」向けに、打ち上げ前の衛星の検査、・燃料充填、統合を行う専用施設。
スペース・フロリダ（運営）	エクスプロレーションパーク（EP）	周辺（KSC隣接）	用地	民間 大学 政府機関	州政府	2011年にNASAとスペース・フロリダが整備した研究開発・製造エリア。
ブルーオリジン	製造・組み立て施設	EP内	製造・開発	民間	民間	大型ロケット「ニューグレン」の製造・組み立てを行う拠点。KSC近接の立地を生かし、打ち上げとの連携を前提とした生産体制を構築。
エアバス	衛星製造施設	EP内	製造	民間 政府機関	民間	小型通信衛星の量産拠点。2016年に、衛星インターネット事業を展開するワンウェブとエアバスの合併で、ワンウェブ向け小型衛星を製造するために設立された。2024年の合併解消によりエアバスの単独出資体制となり、民間および政府機関向けのさまざまな小型衛星を製造している。
スペース・フロリダ（運営）	スペース・ライフサイエンス・ラボラトリー（SLSL）	EP内	R&D・実験	民間 大学 NASA	州政府	宇宙関連の実験や生命科学研究を行う施設。総面積10万4,000平方フィート（約9,700平方メートル）で、オフィススペースや実験室のほか、環境制御チャンパー、低温室、陽圧組織培養室などの特殊設備を備え、NASA、民間企業、大学が共同利用する研究開発拠点として機能。
ユナイテッド・ローンチ・アライアンス（ULA）	打ち上げ場「SLC-41」など	周辺（ケープカナベラル宇宙軍基地内）	打ち上げ	NASA 政府機関 民間	民間	ボーイングとロッキード・マーティンの合併会社であるULAのロケット打ち上げ拠点。NASAのミッションでも利用される中型ロケット「アトラスV」などを用いた政府・商業衛星の打ち上げを実施。
L3ハリス・テクノロジーズ	本社・開発拠点	周辺	開発・システム	NASA 政府機関 民間	民間	衛星通信、センサー、宇宙搭載機器などの開発を行う地域最大規模の企業。KSC近郊のブレバード郡メルボルンに本社機能を有し、宇宙・防衛分野の電子システムを担う中核プレーヤー。
コリンズ・エアロスペース（Collins Aerospace）	開発拠点	周辺	宇宙関連機器開発	NASA 政府機関 民間	民間	KSC近郊のブレバード郡メルボルンに拠点を構える。生命維持装置や宇宙機電装などを供給し、国際宇宙ステーションや有人宇宙機に不可欠なサブシステムを担う。
シエラ・スペース（Sierra Space）	処理・運用施設	周辺	宇宙機開発	NASA 民間	民間	再使用型の有翼宇宙機（スペースプレーン）（注）「ドリームチェイサー」を開発し、国際宇宙ステーションへの補給などを担う。ケープカナベラル近郊のパートナー企業（オール・ポイント・ロジスティクス）の設備で打ち上げ前の調整などを行う。
レッドワイヤー	開発・実験施設	周辺	宇宙分野製造	NASA 民間	民間	3Dプリンティング技術を開発するメイド・イン・スペースを買収し、KSCに隣接する拠点で宇宙実験・製造の地上運用を展開。

注：垂直に打ち上げられる従来のロケットとは異なり、翼を持ち、滑走路を用いて水平に離着陸する航空機と同様の方式で運用される宇宙機。

出所：NASAおよび各社ウェブサイトを基にジェトロ作成